



# 山王台だより5月号

令和 2年 5月 1日  
横浜市立山王台小学校  
〒235-0016  
横浜市磯子区磯子5丁目2-1  
TEL045 (755) 1107

【学校教育目標】 自分のよさに気づき、相手の気持ちを大切にしながら、ともに高め合って生きる

## この丘に育ち、この丘に学び、この丘を思う

校長 志田 一彦

新型コロナウイルスの感染拡大防止による休校が続いています。その間、学校ホームページを通して、横浜市教育委員会や学校からのお知らせをはじめ、休校中の学習課題、そして、今年度新たに「じどうのみなさんへ」というコーナーをアップし、「山王台ニュース」「山王台クイズ」「学びコーナー」等で様々な情報を発信させていただいています。先が見えない状況が続きますが、ご理解、ご協力に感謝申し上げます。

さて、5月27日は、本校の創立記念日です。

昭和54年9月20日に浜小学校北方面校として校舎の建設工事が始まり、翌年の昭和55年5月27日に横浜市議会で「横浜市立山王台小学校」の設置が正式に決定しました。この日を創立記念日としています。

校名は、教職員、保護者、地域の方々に募集をかけ、山王谷に位置し、高台にあることから「山王台小学校」になったそうです。

昭和55年9月1日に開校宣言、翌9月2日には開校式が行われました。「創立30周年記念誌」では当時の様子を次のように振り返っています。

青い空からジリジリと真夏の太陽がてりつける道を1年生から5年生まで15学級、568名の子どもたちが、自分のいすをもってアリの行列のように新しい学校をめざして登っていきました。今、いっしょに勉強しなかよく遊んだ大ぜいの浜小学校のお友だちとお別れ会をしてきたのです。

(山王台小学校「創立30周年記念誌」より)

上記の文章から当時の様子や情景が思い浮かんできます。初年度には6年生がいなかったことも分かります。まだ、施設や設備が十分に整っていない中で、教職員と子どもたちが様々な工夫をしながら学校生活を過ごしていたことでしょう。

そして、創立記念日のちょうど1年後の昭和56年5月27日に校章（表題「山王台だより5月号」左図参照）と校歌が制定されました。

校章の案は全児童・保護者・教職員から募集した170点の中から最終的に3点を選出し、それをもとにデザインして作られました。円周の円は、児童・保護者・地域・教職員の和を表し、波は横浜磯子の特徴である海、世界の海を表し、広い視野を育む願いが込められています。

校歌は作詞、作曲を依頼されたお二人が山王台小学校を訪ね、学校の周りの様子や特徴を捉え、「海・丘・くすの木」をテーマに完成させました。

校歌の中に「この丘に育つ」「この丘に学ぶ」「この丘を思う」という歌詞があります。これまで3725人の卒業生が保護者や地域の皆様、そして教職員に温かく見守られながら山王台小学校を巣立っています。

卒業生たちは、今、母校にどんな思いを抱いているのでしょうか。学校や地域で育ったこと、学んだことを誇りに思い、夢や希望をもって人生を歩んでいることを願っています。

一、海からの風は さわやかに吹き 空を見上げた 希望と夢は かがやく 手をつなぎ 声をかわし みんな この丘に育つ	二、海からの風は かるやかに吹き くすの木の 若い葉にも 希望と夢は おどるよ 手をつなぎ 声をかわし みんな この丘に学ぶ	三、海からの風は なつかしく吹き ぼくの顔は きみの顔に 希望と夢は ひろがる 手をつなぎ 声をかわし みんな この丘を思う	山王台小学校 校歌 作詞・小林 勇 作曲・大久保 二郎
---	---	---	-----------------------------------

今年が創立40周年。子どもたちの豊かな学び、健やかな成長に向けて、保護者や地域の皆様のお力をお借りしながら、新たな歴史の1ページを築いていきたいと思ひます。